



東北大学災害科学国際研究所
東日本大震災メモリアルシンポジウム 2025
第88回 IRIDeS オープンフォーラム

東日本大震災と能登半島地震

何が引き継がれて 何が引き継がれなかったのか？

2025年3月8日（土）14:00～16:30

会場：仙台国際センター 展示棟展示室1-B

発表

- 【防災教育】青木 賢人 氏（金沢大学人間社会研究域 地域創造学系）
- 【災害医学】江川 新一（東北大学災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野）
- 【ボランティア】大塩 さやか 氏（ピースボート災害支援センター）
- 【行政間の支援】後藤 寛 氏（石川県輪島市 上下水道局（宮城県石巻市より派遣））

パネルディスカッション

パネリスト：青木 賢人・江川 新一・大塩 さやか・後藤 寛
進 行：姥浦 道生（災害科学国際研究所 空間デザイン戦略研究分野）

本日の発表資料は、後日、以下のサイトに掲載いたします。

「東北大学災害科学国際研究所東日本大震災メモリアルシンポジウム 2025」
https://irides.tohoku.ac.jp/event/annual_symposium/houkokukai/memorial2025.html



開会の挨拶 (14:00)

小野 裕一 (東北大学災害科学国際研究所 副所長)

趣旨説明

姥浦 道生 (東北大学災害科学国際研究所 教授)

発表 (14:15)

能登半島地震と防災教育～「脅しの防災教育」から「共生の防災教育」へ
青木 賢人 氏 (金沢大学人間社会研究域 地域創造学系)

災害医療からみた 東日本大震災と能登半島地震

何が引き継がれ、何が引き継がれなかったのか

江川 新一 (東北大学災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野)

災害支援団体から見た東日本大震災と能登半島地震・豪雨災害 (仮)

大塩 さやか 氏 (ピースボート災害支援センター)

東日本大震災と能登半島地震～復旧復興におけるマンパワーについて～

後藤 寛 氏 (石川県輪島市 上下水道局 (宮城県石巻市より派遣))

パネルディスカッション (15:30)

2024年の能登半島地震と豪雨災害を受け、本シンポジウムでは東日本大震災との比較を通じて、災害対応・復旧において、引き継がれた点、引き継がれるべきだったのに引き継がれなかった点、見直すべきだったのに引き継がれてしまった点などを明らかにし、災害間での知見の適切な引き継ぎ方について横断的に考察します。

パネリスト：青木 賢人・江川 新一・大塩 さやか・後藤 寛

進行：姥浦 道生 (災害科学国際研究所 空間デザイン戦略研究分野)

閉会の挨拶

姥浦 道生 (東北大学災害科学国際研究所)

総合司会：今野 公美子 (東北大学災害科学国際研究所 広報室)

本日は、ご来場いただき、ありがとうございました。
アンケートにご協力いただければ幸いです。
別紙または右のQRコードからお願いいたします。

